



リュックを背負いませんか？

村井 俊治

65才を過ぎた時、つまり高齢者になって以来リュックを背負っています。どこに行くにもリュックです。最初は格好悪いと自分でも思い、他人からも時々言われました。でも止められません。便利だけでなく、安全だからです。私が使っているリュックは、家内が自分用に買ったものです。もらったというか、取り上げてしまいました。リュックの両側にペットボトルか折りたたみ傘を入れられるポケットがあります。外に上下二つのポケットが付いています。上のポケットには、電卓、三角定規、コースター、糊、シャープペンなどを入れています。私の趣味の必需品です。下のポケットには、デジカメなどを入れます。本体には、パソコンが入ります。A4の用紙やファイルも入ります。それでいてリュックは軽いです。少なくとも軽く感じます。

以前はショルダーやカバンを使っていました。リュックは左右均等に肩に負担がかかるのが最大のメリットです。整体の先生からは片手に持つカバンは止めなさいと言われていました。もう一つのメリットは、両手が自由になります。つまりハンズフリーです。躓いたり、転びそうになったりしたときに、咄嗟の処置に対応できスポーツや航空券を入れるのに便利です。リュックは忘れにくいメリットもあります。常に肩にかけているので、忘れそうになった時には肩が記憶を呼び戻してくれる感じがします。何か物足りないと警告してくれるのです。

最近結構リュック派が増えています。若い女性でもリュックを背負っている姿があります。しかし、大きすぎたり、だらりとお尻近くまで垂れ下がっていたりして感心しません。リュックの大きさと重さは、背負いながら走れるくらいが最適です。敏捷性に欠けるものはお勧めしません。普段の勤務に使うには、敏捷性と携帯性が大切でしょう。電車の座席に座った時に大きすぎるとは迷惑がかかります。電車の中で立っているときは、肩からはずして手に持つのが礼儀のようですね。大抵は網棚に載せています。忘れないかと心配ですか？リュックの紐がぶら下がって目立つので意外と忘れることはないです。

家内は背広にリュックは滑稽だと笑います。でも紳士にカバンが方程式とは限らないですよ。紳士がリュックを背負って何が悪いでしょう。格好をつけて立派な革のカバンを持っていても、重い上に腰痛に悩まされるより、颯爽とリュックを背負いましょうよ。女性だって、ポケットがたくさんある軽いリュックを選べば、化粧品なども入るし便利です。私は小学生の時のランドセルを思い出しながら、リュックを背負って楽々としています。

